

「フライブルグ市環境セミナー受講」 10月28日(水)

- 環境先進都市形成の経緯と概要
- 総合的な環境政策の展開によるエコロジカルなまちづくり
- 都市再開発計画・交通政策・省エネ政策・都市緑化政策の概要

※ 調査時間 15時から17時

※ 所感

フライブルグ市は、人口22万人の都市。原発反対運動から、エネルギー政策を確立。ライフクオリティイコール環境クオリティが市民感覚である。

市民のコンセプト

気象保護対策、CO<sub>2</sub>対策、1996年比、交通4分の1削減、エネルギー4分の3削減(京都議定書による)

交通—公共交通対策、バス、市電、鉄道、60キロメートル交通体系の整備、自転車対策—人口の3分の1は自転車利用。

地域定期券—月額47ユーロ(6000円、週末は家族券として利用できる) 1年定期470ユーロ

エネルギー—熱と電力

- 1、 省エネ政策60%
- 2、 再生エネルギーの促進
- 3、 エネルギーの効率化

住宅ソーラー—2011年までにすべて環境住宅にしたいと考えている。

20年間1キロワット3倍の価格で買い取る法制化。ブームが起きるとコストダウンできるようになった。

天然ガス6基—効率化90% 通常60%の効率化、CO<sub>2</sub>の30%低下できている。



環境提案型集合住宅



エコロジカル住宅(太陽の動きに従って回転する太陽光発電住宅)

ポーバン団地を視察—1992年団地開発。

廃棄物対策

- 1、 ごみの抑制運動
- 2、 リサイクル

各家庭に4種類のボックス（1プラスチック、2紙類、3生ごみ、4その他  
処理できないもの）

3種類のビン類ステーション

ごみ行政2億ユーロ有料化、（4人家族200ユーロの支払い）

自然保護—エコロジーとエコノミー、環境経済局5億ユーロ、1万人雇用、  
1500企業



NATO軍撤退後、基地跡地がエコロジカルなまちづくりに成功



パークアンドライド



パークアンドライド（低料金市電）